児童発達支援センター

社会福祉法人　めやす箱

児童発達支援センター さんぽるて

住所

712-8007

鶴の浦２丁目５５－３３８

電話番号　　４３６－６９２２

ＦＡＸ番号　　４３６－６９２３

メールアドレス

sanporute@athena.ocn.ne.jp

ホームページ

http://www.meyasubako.jp

Information

利用定員

定員30名

①重症心身障がい児②肢体不自由児・医療的ケア児③発達障がい児

開所日

月曜日～金曜日、第1・3土曜日

開所時間

9：00～15：00

スタッフ

管理者、児童発達支援管理責任者、社会福祉士、保育士、児童指導員、看護師、機能訓練担当職員　等

療育内容

「ご家庭」「医療・リハビリ」「事業所」の3者が連携して、一人一人のお子様が自分らしく成長できるようにサポートさせて頂きます。個別療育（ワーク・感覚遊び・スヌーズレンなど）や集団療育（集い・制作活動など）、親子療育等を行い、様々な経験を通して、ADLの向上や社会性、自尊心や豊かな心を養います。

利用児の主な疾病・障がい

重症心身障がい児、肢体不自由児、医療的ケア児、発達障がい児
※医療ケアが必要なお子様については、さんぽるての嘱託医による診察等を行い、登園の可否および登園の形態（単独登園・親子登園）等を検討させて頂きます。

送迎

原則、保護者送迎

その他のサービス

事業所に質問してみました。

療育を行う上で大切にしている事は何ですか？

まずは、医療的なケアや心身面の配慮が必要なお子様が登園されるので状態の把握に努めています。安心・安全を第一にお子様の体調不良等の際には、倉敷リバーサイド病院と連携を図っています。

また、お子様だけではなくご家庭や保護者に寄り添うことを大切にしているとともに、お子様の小さな変化や成長に目を向け保護者とともに成長を喜びながらサポートしています。

保護者支援という視点で取り組んでいる事はありますか？

当センターには、看護師、機能訓練担当職員を配置しているため、お子様の体調面や身体的な機能面に対する相談や助言等を行うことができます。また、親子で登園する機会を設け、普段のお子様の様子を知る機会や触れ合う機会、保護者同士が話ができる機会を設けていきます。

療育って何ですか？どういう事ですか？

事業所の中で完結するのではなく、ご家庭や日々の活動につながる継続性のあるサポートをしていきたいと考えています。リハビリや医療機関と連携を図り、教室移動の際に歩行練習したり、ご自宅で使用している補助具等をご持参いただき日々使い慣れているものを活用して練習等に取り組んでいきます。

皆さんの事業所の「強み」は何でしょうか？

リバーサイド病院の敷地内に当センターがあるため、お子様の体調不良等の際に迅速な対応ができ、リハビリとも連携を図ることができます。また、当センターには社会福祉士や保育士、児童指導員、看護師、機能訓練担当職員を配置しているため、各専門的な視点でお子様と関わらせていただきサポートを行うことができます。

事業所を探されている保護者に一言！

2019年4月に開所した当センターですが、職員一同仲が良く、アットホームな雰囲気で日々のお子様の姿や成長を楽しみながらサポートをさせていただいています。ご利用目的だけではなく、「どんなところなんだろう？」と興味を持たれた方もぜひお気軽にご連絡を頂けたらと思います。職員だけではなく、ご利用されるお子様や保護者、病院、関係機関などみんなで「さんぽるて」を創っていけたらと思っていますのでよろしくお願い致します。